

## 第3章 川崎遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2021年4月現在90ヶ所で調査を行っている。

主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。また、旧石器時代の遺物も出土している。



第6図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第8表 川崎遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
74- 予備	川崎 160	(1974.3.25 ~ 4.4)	84		事前調査	炉穴、土坑、ピット、縄文土器等		上遺調
1 次	川崎 162 ~ 176	1974.7.20 ~ 9.19	1,800		事前調査	縄文時代住居跡 3、古墳時代住居跡 1、古代住居跡 7、焼土、集石、土坑、堀跡、溝、井戸、地下式坑、縄文土器、土師器等		川崎 1 次
緊急調査 宅 1	大字川崎字宮後 168-3 大字川崎字宅地添 221	1975.3.30 ~ 5.10 1975.6.8 ~ 29	198 50		個人住宅 個人住宅	溝、縄文土器等 縄文時代住居跡 1、貝塚、縄文土器等	宅地添 1 次 A 地区	上遺調
2 次	川崎 137 ~ 174	1975.9.4 ~ 12.5	3,055		事前調査	縄文時代住居跡 10、古墳時代住居跡 6、古代住居跡 10、炉穴、土坑、ピット、堀跡、溝、井戸、縄文土器、土師器等		川崎 2 次
3 次	川崎 149-6	1977.11.1 ~ 12.3	300		宅地造成	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 6、柱穴、溝、縄文土器、土師器等		川崎 3 次
宅 2	川崎 198	1978.5.15 ~ 25	170		宅地造成	土坑、ピット、遺物なし	宅地添 2 次 B 地区	上埋 I
宅 3	川崎 230	1978.5.23 ~ 31	130		宅地造成	井戸、溝、地下式坑、遺物なし	宅地添 3 次 C 地区	上埋 I
4 次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ~ 5.11	304		宅地造成	縄文時代住居跡 1、ピット、溝、縄文土器等		上埋 II・IV
5 次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ~ 10.10	152		宅地造成	溝状遺構、遺物なし		上埋 II
79-1	清見 4-3-11	(1979.11.12 ~ 19)	260		宅地造成	溝、縄文土器		上埋 II
6 次	川崎 102-5	1979.12.3 ~ 8	30		プレハブ家屋	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、縄文土器、須恵器等		上埋 II
7 次	川崎宮前	1981.11.27 ~ 30	316		個人住宅	遺構なし、平安土器		上埋 IV
8 次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ~ 26	400		住宅建設	溝、縄文土器		上埋 VI
宅 4	川崎宅地添 219-2・3	1984.9.25 ~ 10.9	301		住宅建設	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、縄文土器、須恵器等		上埋 VII
9 次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11 ~ 20	495		個人住宅	溝、縄文土器等		上埋 IX
10 次	川崎 224-1	1987.11.24 ~ 30	603		個人住宅	溝、石斧		上埋 X
11 次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ~ 17	289		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 11
88-1	市道 402 号線	(1988.9.19 ~ 21)	60		下水道設置	遺構遺物なし		上埋 11
89-1	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ~ 18)	1,045		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
89-2	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ~ 6)	264		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
12 次	川崎字宮脇 149-4・5	1990.4.20 ~ 27	311		住宅建設	溝、遺物なし		上埋 13
13 次	川崎字宮前 122	1990.5.1 ~ 17	480		住宅建設	古代住居跡 1、土師器		上埋 13
90-1	川崎字宮前 122	(1990.5.18 ~ 23)	530		範囲確認	遺構遺物なし		上埋 13
14 次	川崎字宮脇 145-2	1990.10.1 ~ 31	499		個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、貝塚、須恵器等		上埋 13
15 次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ~ 11.20	499		個人住宅	古代住居跡 7、土坑、緑釉陶器、墨書土器、石製紡錘車等		上埋 14
92-1	川崎字山向 9-5	(1993.2.18 ~ 19)	168		店舗併用住宅	遺構遺物なし		上埋 15
93-1	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 16
93-2	川崎 1-1-1 の一部	(1993.9.10 ~ 13)	422		共同住宅	遺構遺物なし		上埋 16
94-1	川崎字台 258 外 1 筆	(1994.11.17 ~ 24)	230		機材置場	遺構遺物なし		上埋 17
95-1	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13 ~ 16)	1,126		消防署	遺構遺物なし		上埋 18
16 次	川崎字宮脇 150-2・3	(1995.12.4 ~ 8) 1995.12.11 ~ 1996.3.8	828		駐車場 資材置場	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 4、古代掘立柱建物跡 6、竪穴状遺構、土坑、溝、井戸、縄文土器		H7 上社、上埋 18、市内 26
17 次	川崎字宅地添 204 の一部	(1996.7.8 ~ 12) 1996.7.15 ~ 23	779	(779) 130	宅地造成 個人住宅	古代住居跡 1、墨書土器、須恵器等		上埋 19
18 次	川崎字宮脇 148-3	(1996.11.11 ~ 12) 1996.11.18 ~ 25	198		個人住宅	古代住居跡 3、土師器等		上埋 19
97-1	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367		宅地造成	溝、遺物なし		上埋 20
97-2	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 20
97-3	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12 ~ 16)	780		個人住宅	遺構遺物なし		H9 上社
98-1	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ~ 11.6)	996		宅地造成	土坑、縄文土器等		上埋 21
市道 402 号線 2 次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21 ~ 25	496		道路敷設	縄文時代住居跡 1		H11 上社
00-1	川崎字宅地添 209 の一部	(2000.6.19 ~ 22)	123.3		個人住宅	遺構なし、貝殻、縄文土器等		上埋 23
01-2	川崎字宅地添 209 の一部	(2001.6.12 ~ 25)	100		車庫	溝、土坑、縄文土器等		上埋 24
19 次	川崎字宮脇 157 の一部	2001.9.18 ~ 10.4	289		個人住宅	古代住居跡 1、土坑、土師器等		上埋 24
01-1	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29 ~ 30)	825		宅地造成	遺構なし、縄文土器片、貝殻等		上埋 24
02-1	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341		倉庫	遺構なし、縄文土器等		上埋 25
02-2	川崎 210-1・2 の一部	(2002.10.28 ~ 29)	551		共同住宅	溝		H14 上社
02-3	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-4	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
03-1	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6 ~ 7)	257		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 26
02-5	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164		市道 401 号線	遺構遺物なし		H14 上社

地区 地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
03-2 宅5	川崎字宅地添 226-16 川崎字宅地添 222-3 先	(2003.12.8・19) 2004.2.16～18	381 88		個人住宅 市道 381 号線	遺構遺物なし 古墳時代住居跡 1、壺型土器		上埋 26 H15 上社
04-1	川崎字宮脇 157-1 の 一部	(2004.6.14・15)	421		個人住宅	竈、土師器等		上埋 27
04-2	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881		宅地造成	遺構遺物なし		上埋 27
20 次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257		個人住宅	古墳時代住居跡 1、土師器		市内 1
21	川崎 1-6-10 の一部	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	(124)	個人住宅	古代住居跡 1、溝、縄文土器等		市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16～23) 2007.4.24～5.22	104	(104) 104	消防分団車庫	炉穴、土坑、溝、地下式坑、穴蔵、 墨書土器、瓦塔、花瓶等		市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	(26)	共同住宅	溝、土師器片		市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	(55)	個人住宅	古代掘立柱建物跡 1、土坑、ピット、 溝、地下室、灰釉陶器、縄文土器等		市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、井戸、 墨書土器等		市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～21)	350	(112)	分譲住宅	土坑、溝、縄文土器等		市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～9) 2008.7.10～8.8	434	(160)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、溝、土師器等		市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9～11) 2008.7.14～8.22	203	(108)	個人住宅	古代住居跡 2、土坑、ピット、溝、 墨書土器、土師器等		市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、溝、 井戸、灰釉陶器、墨書土器等		市内 6
31	川崎字宮後 161-1・ 5・6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	(103)	個人住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、 ピット、縄文土器、須恵器等		市内 8
32	川崎字宮脇 140 の 一部	(2011.2.24～3.2) 2011.3.4～25	396	(166.5)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、ピット、須 恵器等		市内 10
33	川崎字宅地添 226-5	(2011.4.14～21)	438	(135)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 14
34	川崎 2-5-4	(2011.7.25～26)	117.8	(23)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 14
35	川崎 2-6-4～7・9	(2011.9.27～11.24)	1,924	(668)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、 土坑、ピット、溝、縄文土器、須 恵器等		市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.10～17	1,096	(439) 22	公園整備	古代住居跡 6、土坑、ピット、墨 書土器、須恵器等		市内 14
37	川崎字宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	(15)	個人住宅	遺構なし、須恵器		市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	(25) 5	個人住宅	焼土、ピット、縄文土器等		市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	(2013.3.4・5)	1,121.33	(34)	個人住宅	遺構なし、縄文土器等		市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11～17)	447	(172.5)	共同住宅	遺構なし、陶器		市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1～10.31	419		道路	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 3、 炉穴、土坑、ピット、溝、畝跡、 縄文土器、須恵器等		県埋文 420
42	川崎字宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	(39)	集会所	古代住居跡 1、土師器等		市内 22
43	川崎字宮後 165-5・ 8・9	(2015.6.26)	175.21	(20)	個人住宅	焼土、縄文土器		市内 22
44	川崎字宅地添 202- 1・8	(2015.11.24～12.10) 2016.1.5～20	273.56	(124)	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 1、 貝塚、土坑、ピット、溝、地下式坑、 縄文土器、須恵器等		市内 19
45	川崎字山向 8-4、 7-7・8	(2017.2.22～24)	254.72	(55.65)	個人住宅	溝、縄文土器等		市内 24
46	川崎字宮前 101-5、 103-8	(2017.3.13)	199	(4)	個人住宅	掘り込み遺構、須恵器		市内 24
47	川崎字山向 15-1、 16-1	(2017.12.19)	749	(5)	資材置場	遺構遺物なし		市内 24
48	川崎字宅地添 234-1	(2018.8.27～30)	266	(41)	個人住宅	縄文時代住居跡 1、ピット、溝状 遺構、縄文土器等		市内 25
49	川崎 1-1-5	(2019.2.7・8)	509	(106.41)	分譲住宅	根切り溝、縄文土器等		市内 25
50	川崎字山向 10-4 の 一部	(2014.9.8)	120	(20)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
51	川崎 1-1-6	(2019.5.8・9)	394	(97.14)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
52	川崎字宮前 99-1	(2019.5.22～24) 2019.5.28～6.19	635	(172.4) 82.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、 瓦片		市内 25
53	川崎字宮後 166-1・ 9～11	(2019.11.5・6)	212	(47.5)	分譲住宅	堀跡、縄文土器等		市内 25
54	川崎字宮脇 155-6	(2020.2.20・21)	313.62	(23.25)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 25
55	川崎字宅地添 232- 4、233-1 の各一部	(2020.3.16・17)	235	(22.35)	個人住宅	溝、須恵器片		市内 25
56	川崎 2-7-11・16	(2020.9.8・9)	316	(74.45)	分譲住宅	溝、遺物なし		市内 26
57	川崎字宮前 127-2	(2021.2.4) 2021.2.5～12	168	(44.7) 44.9	個人住宅	縄文時代住居跡 2、集石土坑、縄 文土器等		市内 26



第7図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

第9表 川崎遺跡縄文時代住居跡一覧表(単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ( )は推定	規模	炉			埋 甕	拡 張	周 溝	主軸方位	時 期	備 考	所収報告書
						地 床	炉 体	石 囲							
1	1974	第1次 LN03	2/3	方形	430 × 380	○						N-16-E	諸磯 a		川崎1次、市史資 I
2	1974	第1次 LN19	2/3	長方形	- × 550	○				④	○	N-42-E	黒浜		川崎1次、市史資 I
3	1974	第1次 LN20	2/3	長方形	560 × 420	○					○	N-59-E	黒浜		川崎1次、市史資 I
4	1975	第2次 LN70	1/2	隅丸長方形	- × 330								黒浜		川崎2次、市史資 I
5	1975	第2次 LN73		隅丸長方形	350 × 260	○						N-6-W	花積下層?		川崎2次、市史資 I
6	1975	第2次 LN74		隅丸方形	820 × 810	○						N-80-W	前期	LN73・74・76・ 77の順で構築	川崎2次、市史資 I
7	1975	第2次 LN76		不整形	390 × 290	○						N-10-E	前期		川崎2次、市史資 I
8	1975	第2次 LN77		隅丸長方形		○							前期		川崎2次、市史資 I
9	1975	第2次 LN08	1/2	隅丸長方形	- × 570	○						N-88-E	関山		川崎2次、市史資 I
10	1975	第2次 LN34		不整形	520 × 480							N-15-W	黒浜?	H19住・LN35と 重複	川崎2次、市史資 I
11	1975	第2次 LN35											前期	10J住・H19住と 重複	川崎2次、市史資 I
12	1975	第2次 LN25	大部分	長方形	- × 450							N-68-W	関山	H24住と重複	川崎2次、市史資 I
13	1975	第2次 LN50	1/2 以上	長方形	620 × 460	○						N-35-W	関山		川崎2次、市史資 I
14	1975	宅地添1次	完掘	不整形台形	390 × 410	○						N-22-W	早期未葉～ 前期初頭	貝層伴う	上遺調
15	1977	第3次 J7		不明									花積下層		川崎3次、市史資 I
16	1977	第3次 J8		不整形									花積下層		川崎3次、市史資 I
17	1979	第4次1号住居	完掘	隅丸長方形	645 × 505	○						N-36-E	黒浜		上埋II・IV、市史資 I
18	1979	第6次1A											黒浜	1B・1Cと重複	上埋II、市史資 I
19	1979	第6次1C											黒浜	1A・1Cと重複	上埋II、市史資 I
20	1984	宅地添第4次2号住居	完掘	柄鏡形	円径3～4m	○			①				加曾利		上埋VII
31	1990	第14次1号住居	完掘									N-52-E	関山 I	貝層を伴う	上埋13、市史資 I
32	1995	第16次3号住居											黒浜	炉跡のみ	H7上社、市内26
33	1995	第16次4号住居											黒浜	炉跡のみ	
34	1995	第16次7号住居	完掘	長方形	1200 × 800							N-45-E	黒浜	大型住居	
35	2000	市道402号線2次											関山		H11上社
21	2009	第31地点J21号住居	75%	柄鏡形	(500) × 420				②				称名寺 I		市内8
22	2009	第31地点J22号住居	25%							○			加曾利 E IV		市内8
23	2011	第35地点J23号住居	一部	台形か 長方形	520 × -								黒浜	未検出	市内14
24	2015	第44地点J24号住居	一部	円形か方形		○							黒浜	H80住と重複	市内19
25	2015	第44地点J25号住居	一部	円形か 隅丸方形									黒浜	地下式坑と重複	市内19
26	2018	第48地点	一部	円形か 隅丸方形									前期?		市内25
27	2019	第52地点	75%	隅丸長方形	940 × (600)	○						N-72-E	黒浜		未報告
28	2014	第41地点2号住居		楕円形	(430 × 110)							N-0	黒浜		県埋文420
29	2014	第41地点4号住居		隅丸方形	(490 × 200)							N-7-E	関山		県埋文420
30	2014	第41地点5号住居		方形	(370 × 350)							N-7-E	茅山上層	土坑・炉穴と重 複	県埋文420
36	2020	第57地点J36号住居	一部	隅丸方形	(820 × 200)	○							黒浜		市内26
37	2020	第57地点J37号住居	一部		(214 × 62)								黒浜		市内26

## II 川崎遺跡第56地点

## (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2020年8月31日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2020年9月8・9日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60cmである。

調査の結果、時期不明の溝3条を確認した。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

## (2) 遺構と遺物

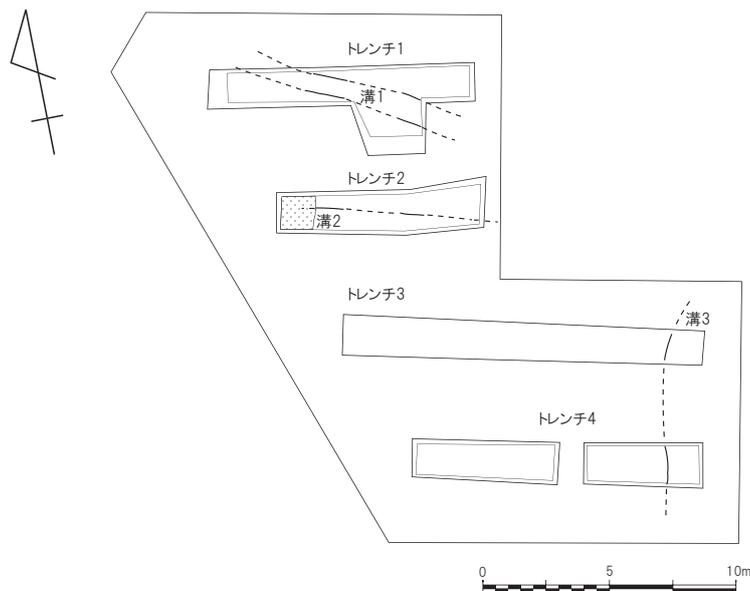
## ① 溝

溝1及び溝2は調査区北側、溝3は調査区南東部で検出した。規模等の詳細については第10表に掲載した。

【溝1】 N-59°-W に走行する。底部は凹凸があり、幅約20cmの工具痕が残る。

【溝2】 走行方向は N-70°-W。底部に凹凸はなく平坦である。断面形態は溝1と類似するが覆土が異なるため、時期差があるものと想定される。

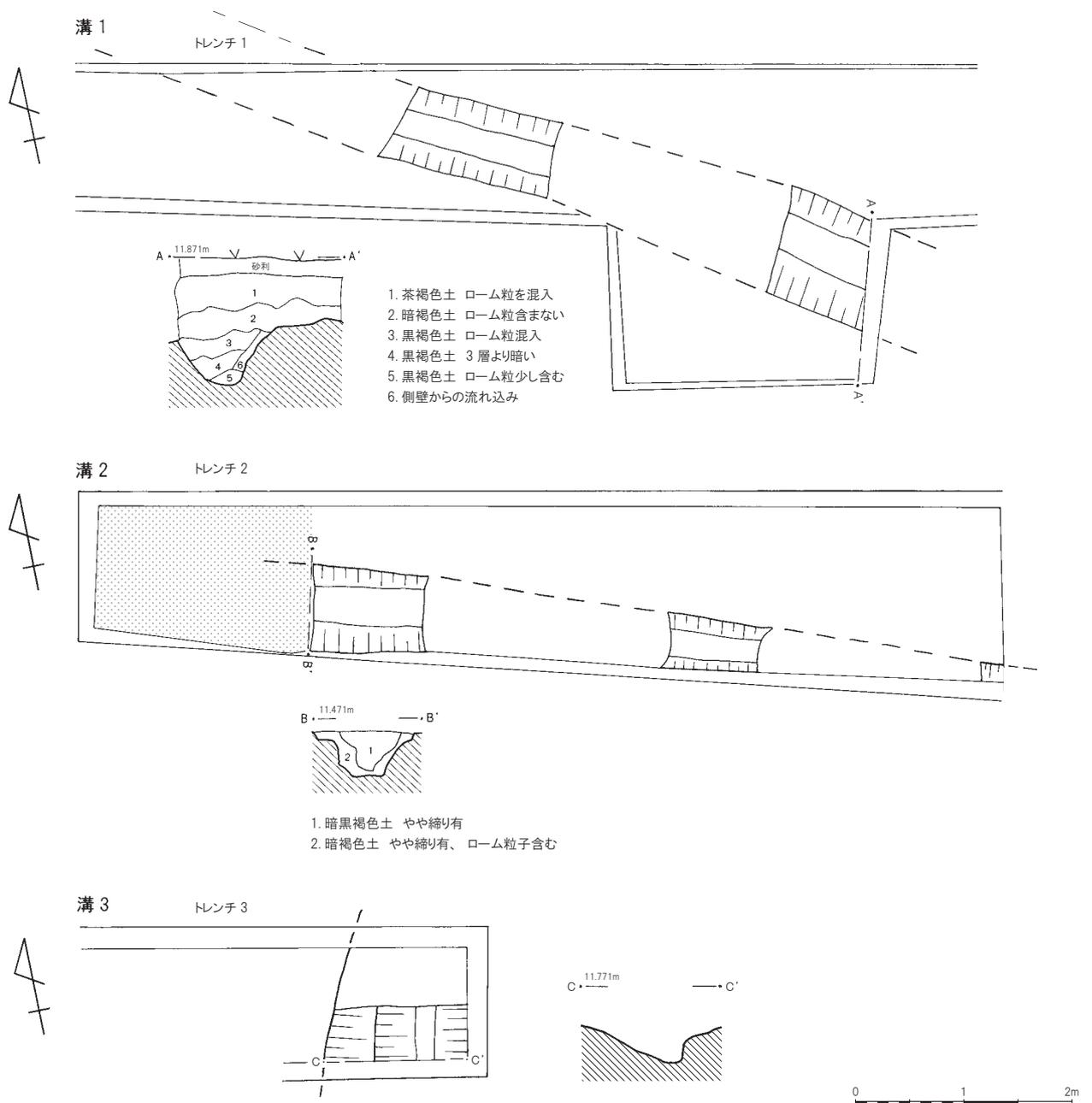
【溝3】 南北方向に走行する。西に向かって緩やかに立ち上がる。覆土は軟質の暗褐色土が主体で、明確な時期は不明だが近世以降の地境の可能性が考えられる。



第8図 川崎遺跡第56地点遺構配置図(1/300)

第10表 川崎遺跡第56地点溝一覧表(単位cm)

No.	断面形態	上幅	下幅	深さ
1	逆台形	71 ~ 100	25 ~ 36	60.9
2	逆台形	90	23 ~ 37	40.2
3	U字形	130	20	52.8



第9図 川崎遺跡第56地点溝(1/60)



川崎遺跡第 56 地点トレンチ 1



川崎遺跡第 56 地点トレンチ 2



川崎遺跡第 56 地点トレンチ 2 土層



川崎遺跡第 56 地点トレンチ 1・2